

浜銀総研 News Release



2025年9月18日

プラスに転じた神奈川県内中堅・中小企業の景況感

—— 企業経営予測調査 2025年9月調査結果 ——

要 旨

2025年9月末時点での神奈川県内の中堅・中小企業の業況判断D I は、全産業で前回6月調査と比べて11ポイント上昇の+1と改善に転じ、2018年3月調査以来7年半ぶりのプラスとなった。販売価格の上昇や売上動向の改善に加え、米国の関税政策をめぐる不透明感が薄れたことなどが、背景にあると考えられる。製造業のD I は12ポイント上昇の▲13と大幅に改善した。業種別には電気機械や金属製品、一般機械など、多くの業種で上昇が見られた。非製造業も+8と10ポイント上昇した。小売を除く全業種でD I が上昇し、特に運輸・倉庫や卸売、不動産などで大幅な上昇が見られた。

12月末の予想については全産業が▲6と、9月末に比べて7ポイントの低下が見込まれている。製造業が▲17、非製造業は0と、いずれも悪化予想となった。人手不足感が続いていること、売上・生産動向の悪化が予想されていることなどが、景況感の悪化要因と考えられる。

【本件についてのお問い合わせ先】

(株)浜銀総合研究所 調査部 新瀧 健一

TEL 045-225-2375 (調査部代表)

本資料の目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本資料記載した内容は、作成時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、発表後に予告なく変更することがあります。また、本資料に記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いいただきますようお願いいたします。

企業経営予測調査

2025 年 9 月実施

四半期別（第 217 回）結果

対象企業

神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした1,066社

（うち製造業359社、非製造業707社）

回収率31.4%

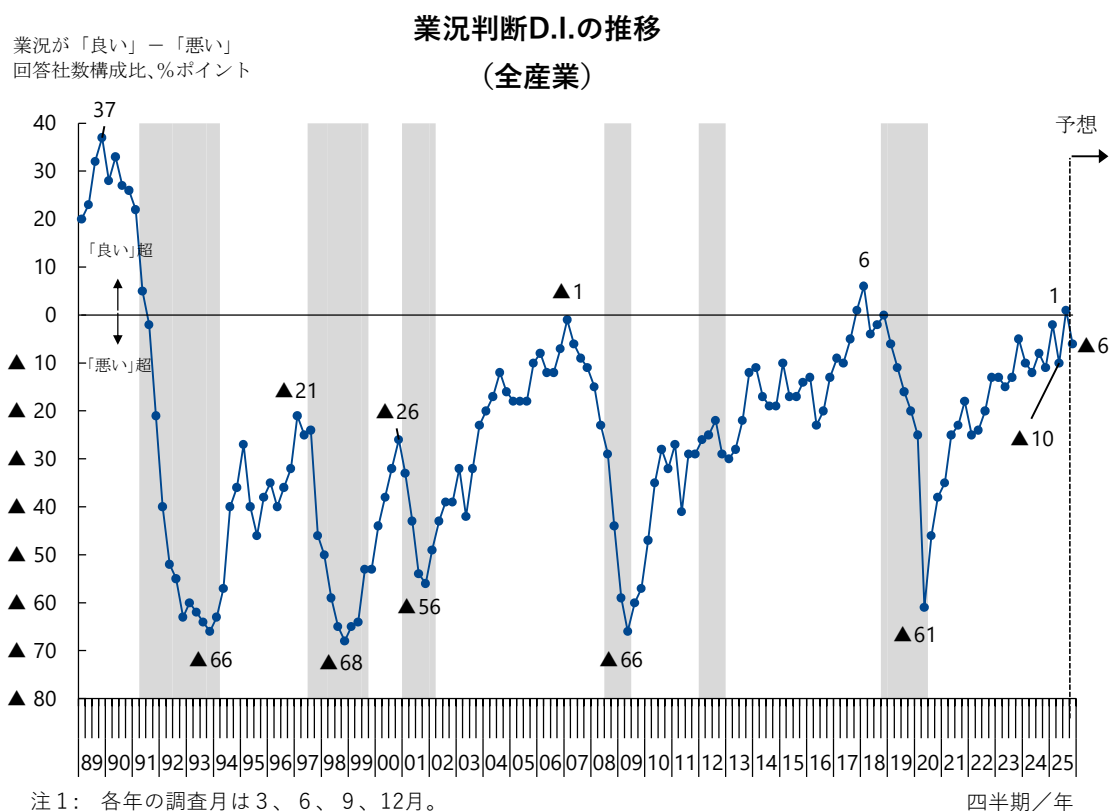
（回答企業335社、うち製造業112社、非製造業223社）

【業況判断D I】

（2025 年 9 月末）

2025年9月末時点における神奈川県内の中堅・中小企業の業況判断D I（全産業ベース、業況が「良い」－「悪い」、回答社数構成比、%ポイント）は前回2025年6月の調査と比べて11ポイント上昇の+1と改善に転じた。D Iがプラスとなるのは2018年3月調査以来7年半ぶりのことである。なお、6月末時点での9月末予想（▲15）と比べても16ポイント上振れした。販売価格の上昇が続くとともに売上動向の改善ペースが速まったほか、米国の関税政策をめぐる不透明感が薄れたことも、県内企業の景況感の改善につながったとみられる。

製造業の業況判断D Iは前回6月調査比12ポイント上昇して▲13となった。業種別に見ると、電気機械（前回調査：▲20→今回調査：0）や金属製品（同：▲42→▲23）、一般機械（同：▲21→▲5）などでD Iが大きく上昇した。なお、鉄鋼・非鉄（同：▲25→▲29）と化学・石油（同：+17→+14）ではD Iが低下した。



非製造業の業況判断D I も前回調査比10ポイント上昇の+8となり、1991年6月調査の+15以来の水準となった。業種別に見ると、小売（同：0→▲10）を除いた全業種でD I が上昇した。特に運輸・倉庫（同：0→+26）は大幅に上昇し、1990年9月調査（+27）以来の水準となったほか、卸売（同：▲9→+6）や不動産（同：0→+12）などでも景況感が大きく改善した。なお、建設（同：+9→+13）は1991年9月調査（+27）以来、不動産も2019年6月調査（+18）以来の水準となった。

（3 か月先の予想）

2025年12月末時点の業況判断D I（全産業ベース）は▲6と、9月末実績比7ポイントの低下が見込まれている。製造業の業況判断D I が▲17と9月末比4ポイント低下すると予想され、非製造業も0となり、8ポイントの低下が見込まれている。製造業では化学・石油や一般機械、電気機械など、非製造業では飲食店・宿泊や運輸・倉庫、サービスなど、多くの業種で景況感の悪化が見込まれている。人手不足感が続いていること、生産動向や売上動向の悪化が見込まれることなどが、景況感悪化の要因と考えられる。

足元の業況判断D I と 3 か月先の予想

（業況判断D I：業況が「良い」－「悪い」の回答社数構成比、%ポイント）

	2023年 12月末	2024年 3月末	2024年 6月末	2024年 9月末	2024年 12月末	2025年 3月末	2025年 6月末	2025年 9月末	2025年 12月末 (予想)
全 産 業	▲ 5	▲ 10	▲ 12	▲ 8	▲ 11	▲ 2	▲ 10	1 (▲ 15)	▲ 6
製 造 業	▲ 16	▲ 23	▲ 24	▲ 17	▲ 23	▲ 8	▲ 25	▲ 13 (▲ 24)	▲ 17
一般機械	▲ 9	▲ 20	▲ 12	0	▲ 10	14	▲ 21	▲ 5 (▲ 32)	▲ 19
電気機械	▲ 14	▲ 14	▲ 12	▲ 11	▲ 11	▲ 8	▲ 20	0 (▲ 5)	▲ 11
電子部品・デバイス	▲ 71	▲ 63	▲ 63	▲ 33	▲ 71	▲ 57	▲ 44	▲ 33 (▲ 33)	▲ 17
輸送機械	0	▲ 27	▲ 35	▲ 21	▲ 33	▲ 18	▲ 24	▲ 22 (▲ 24)	▲ 22
化学・石油	13	▲ 11	▲ 33	13	▲ 11	29	17	14 (▲ 17)	▲ 29
鉄鋼・非鉄	▲ 33	0	▲ 25	▲ 56	▲ 38	▲ 43	▲ 25	▲ 29 (▲ 38)	▲ 29
金属製品	▲ 12	▲ 47	▲ 31	▲ 38	▲ 29	▲ 27	▲ 42	▲ 23 (▲ 33)	▲ 23
非製造業	1	▲ 2	▲ 4	▲ 3	▲ 4	2	▲ 2	8 (▲ 10)	0
建設	▲ 16	▲ 2	0	8	0	11	9	13 (▲ 7)	5
不動産	5	▲ 5	▲ 5	▲ 10	▲ 8	5	0	12 (▲ 5)	12
運輸・倉庫	9	▲ 14	▲ 13	▲ 10	▲ 10	11	0	26 (14)	9
卸売	10	15	0	3	3	7	▲ 9	6 (▲ 14)	3
小売	9	0	▲ 7	▲ 10	▲ 4	▲ 7	0	▲ 10 (▲ 19)	▲ 10
飲食店・宿泊	▲ 8	0	7	0	6	21	▲ 8	0 (▲ 31)	▲ 19
サービス	7	▲ 16	▲ 9	▲ 14	▲ 25	▲ 24	▲ 5	5 (▲ 11)	▲ 8

注: カッコ内は前回2025年6月調査（確報値）時点における2025年9月末予想である。データは2025年9月16日時点の速報値。

なお、回答企業数が少ない業種は表示していない。

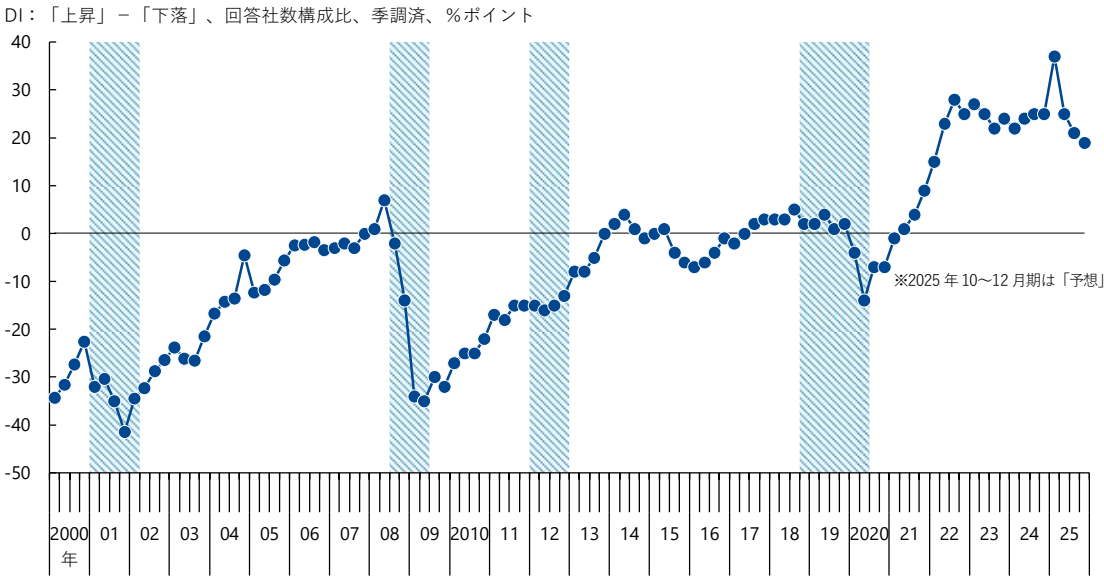
出所: 浜銀総研「企業経営予測調査」

【参考】

販売価格動向の判断

2025年7～9月期の販売価格動向DI（前の四半期に比べて販売価格が「上昇」-「下落」の回答社数構成比、季調済、%ポイント）は+21となった。前回調査から4ポイント低下したものの、2021年4～6月期から「上昇」超で推移している。製造業は+13と7ポイント低下した。業種別には、化学・石油や電気機械が大きく低下した反面で、金属製品や鉄鋼・非鉄などは上昇した。一方、非製造業も4ポイント低下して+24となった。飲食店・宿泊と運輸・倉庫でDIが大きく低下した。

10～12月期の販売価格動向DIは+19と、2ポイントの低下が予想されている。製造業では2ポイント上昇の+15が見込まれている。化学・石油や鉄鋼・非鉄などが上昇する予想である。一方、非製造業は+22と2ポイントの低下が見込まれている。小売と飲食店・宿泊で大きな低下が予想されている。



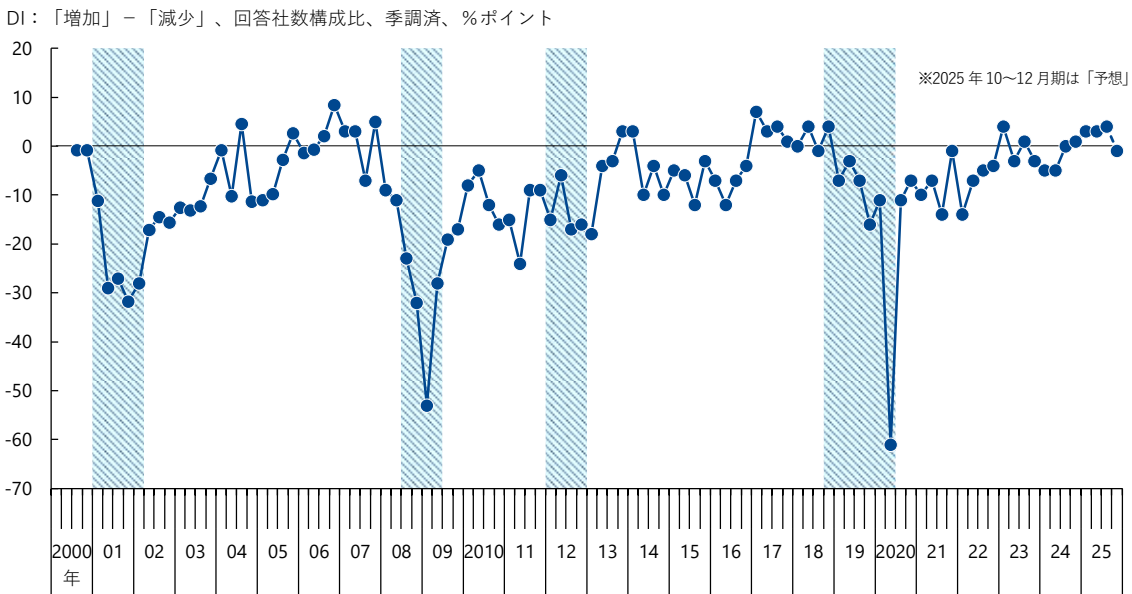
		2024年		2025年			
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月予想
全 体	上昇(A)	28	31	36	29	25	24
	変わらない	70	65	62	67	72	73
	下落(B)	2	3	2	4	3	3
	DI(A)-(B)	26	28	34	25	22	22
	季調済	25	25	37	25	21	19
業 種 別 D I	製造業	21	22	33	20	13	15
	電気機械	23	21	43	33	10	5
	電子部品・デバイス	19	51	45	40	29	28
	輸送機械	28	21	15	19	8	12
	一般機械	12	33	39	15	16	17
	化学・石油	15	21	55	52	15	29
	金属製品	8	6	20	▲25	8	14
	鉄鋼・非鉄	37	▲4	35	9	16	26
	非製造業	27	28	38	28	24	22
	建設	22	26	43	22	20	20
	不動産	8	6	25	24	32	31
	運輸・倉庫	26	20	38	35	19	29
	卸売	38	44	28	33	32	31
	小売	35	48	65	36	36	22
	飲食店・宿泊	44	41	70	61	24	11
	サービス	20	9	9	10	13	23

注：業種別DI値は季節調整値。季節調整値は各年とも12月調査の集計時点で再計算し改訂している。

売上動向の判断

2025年7～9月期の売上動向DI（前の四半期に比べて売上高が「増加」－「減少」の回答社数構成比、季調済、％ポイント）は前回調査から1ポイント上昇して+4となり、2023年1～3月期（+4）以来の水準となった。製造業のDIは3ポイント上昇の+1と、2022年7～9月期以来のプラスとなった。業種別には、金属製品や電気機械などが上昇した反面で、一般機械や化学・石油、輸送機械などは低下した。一方、非製造業は+6と前回調査から横ばいとなったものの、5四半期連続でプラスとなった。業種別ではサービスや運輸・倉庫、不動産のDIが大きく上昇した反面で、卸売と建設などは低下した。

10～12月期の売上動向DIは▲1と今回実績比5ポイント低下する見込みである。製造業は鉄鋼・非鉄や電気機械、金属製品が低下に転じ、▲4と5ポイントの低下が予想されている。一方、非製造業では、運輸・倉庫やサービス、建設が悪化してマイナスとなる予想であることから、5ポイント低下して+1となる見込みである。



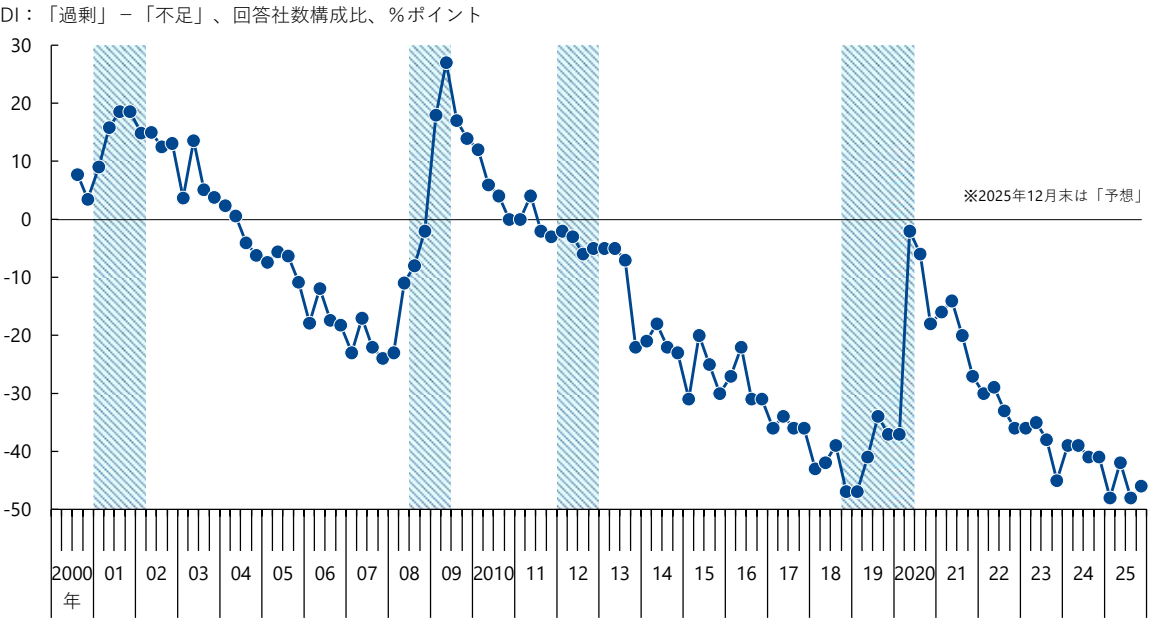
		2024年		2025年			
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月予想
全 体	増加(A)	26	33	27	24	28	29
	変わらない	52	46	45	43	51	53
	減少(B)	22	20	28	33	21	18
	DI(A)-(B)	4	13	▲1	▲9	8	11
	季調済	0	1	3	3	4	▲1
業 種 別 D I	製造業	▲6	▲9	▲4	▲2	1	▲4
	電気機械	▲5	▲10	4	▲10	12	▲11
	電子部品・デバイス	▲30	▲19	▲8	▲13	▲18	▲5
	輸送機械	▲4	▲2	▲17	25	0	▲14
	一般機械	▲17	▲4	▲21	32	▲20	▲4
	化学・石油	▲40	▲25	34	3	▲45	▲27
	金属製品	11	▲10	▲12	▲19	17	▲2
	鉄鋼・非鉄	15	▲4	▲18	▲10	4	▲16
	非製造業	5	6	8	6	6	1
	建設	6	2	6	19	12	▲1
	不動産	7	▲5	16	1	11	18
	運輸・倉庫	18	24	7	10	21	▲5
	卸売	15	18	4	5	▲6	0
	小売	▲11	▲11	21	0	▲1	0
	飲食店・宿泊	7	6	33	▲14	▲11	12
	サービス	▲10	▲1	▲5	0	12	▲5

注：業種別DI値は季節調整値。季節調整値は各年とも12月調査の集計時点で再計算し改訂している。

雇用人員の判断

2025年9月末時点の雇用人員判断DI（雇用人員が「過剰」-「不足」の回答社数構成比、%ポイント）は前回調査比6ポイント低下して▲48となった。人手不足感は前回調査に比べて強まって、高い水準で推移している。製造業は▲35と前回調査比9ポイント低下した。業種別では電気機械や電子部品・デバイスなどでDIが低下した一方、金属製品と一般機械は上昇した。非製造業のDIは▲55と前回調査比5ポイント低下した。飲食店・宿泊やサービスなどでDIが上昇した反面で、不動産や建設などは低下した。

12月末の雇用人員判断DIは▲46となり、9月末比2ポイントの上昇を予想する。製造業が9月末実績比横ばいの▲35を見込み、非製造業は3ポイント上昇の▲52を予想している。

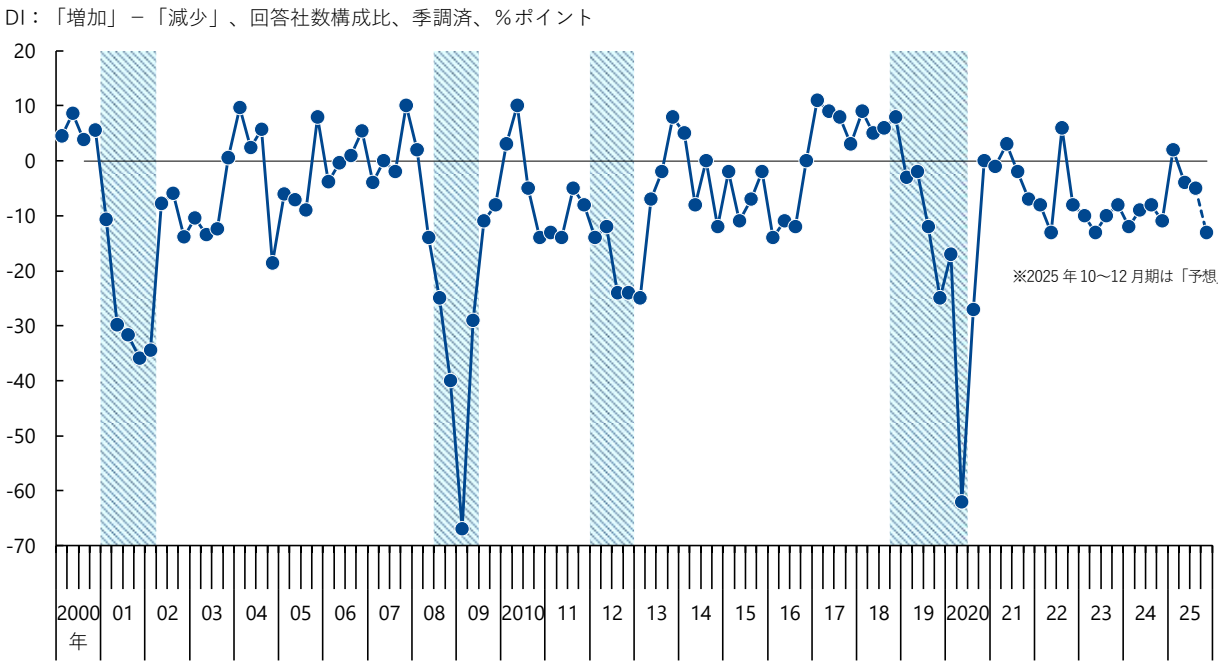


		2024年		2025年			
		9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末予想
全 体	過剰(A)	5	7	4	6	3	3
	適正	48	44	44	46	45	48
	不足(B)	46	49	52	48	52	49
	DI(A)-(B)	▲41	▲41	▲48	▲42	▲48	▲46
業 種 別 D I	製造業	▲23	▲22	▲33	▲26	▲35	▲35
	電気機械	▲6	▲17	▲15	0	▲22	▲17
	電子部品・デバイス	11	29	0	0	▲17	▲17
	輸送機械	▲25	0	▲23	▲29	▲35	▲39
	一般機械	▲52	▲50	▲52	▲53	▲48	▲43
	化学・石油	▲13	▲33	▲57	▲17	▲29	▲29
	金属製品	▲23	▲36	▲40	▲50	▲36	▲43
	鉄鋼・非鉄	▲44	▲25	▲29	▲25	▲29	▲29
	非製造業	▲51	▲51	▲55	▲50	▲55	▲52
	建設	▲63	▲68	▲65	▲54	▲67	▲65
	不動産	▲30	▲21	▲30	▲28	▲44	▲44
	運輸・倉庫	▲57	▲71	▲67	▲59	▲65	▲61
	卸売	▲36	▲32	▲33	▲40	▲38	▲32
	小売	▲41	▲50	▲53	▲44	▲50	▲50
	飲食店・宿泊	▲53	▲63	▲69	▲46	▲38	▲38
	サービス	▲56	▲54	▲61	▲65	▲58	▲50

生産動向の判断

2025年7～9月期の生産動向DI（前の四半期に比べて生産が「増加」－「減少」の回答社数構成比、季調済、％ポイント）は▲5と前回調査から1ポイント低下した。業種別では、化学・石油が大きく悪化したほか、輸送機械や一般機械なども低下した。一方で電子部品・デバイスや鉄鋼・非鉄などではDIが上昇した。

10～12月期の生産動向DIは▲13と、7～9月期実績から8ポイントの低下が見込まれている。業種別では、金属製品や電子部品・デバイス、電気機械などが低下予想となった反面で、化学・石油と一般機械はDIの上昇を見込んでいる。



		2024年		2025年			
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月予想
全 体	増加(A)	21	26	22	19	24	26
	変わらない	60	53	47	44	53	50
	減少(B)	20	21	31	37	23	24
	DI(A)-(B)	1	4	▲9	▲18	2	2
	季調済	▲8	▲11	2	▲4	▲5	▲13
業 種 別 D I	製造業	▲8	▲11	2	▲4	▲5	▲13
	電気機械	▲13	▲12	13	▲3	0	▲13
	電子部品・デバイス	▲18	▲25	12	▲2	18	4
	輸送機械	▲10	▲13	▲17	18	▲7	▲16
	一般機械	▲13	▲6	9	0	▲14	▲11
	化学・石油	▲17	▲5	18	22	▲60	▲55
	金属製品	18	▲3	▲30	▲9	▲3	▲23
	鉄鋼・非鉄	10	▲8	▲41	▲19	▲8	▲19

注：業種別DI値は季節調整値。季節調整値は各年とも12月調査の集計時点で再計算し改訂している。

以上